

資料⑨

百科事典を使いこなしましょう！

百科事典とは、「あらゆる方面の知識」を集めたもので、科学、自然、芸術、社会、歴史、文学、スポーツなどのいろいろな分野について答えてくれる参考図書です。百科事典には、基本的な用法を解説してあるので、大体のことが分かるようになっています。必要なときに必要なところを読むことで効率的に調べることができます。

百科事典は、その項目を調べるためだけに使うよりも、さらに深く調べるための手がかりとして使うとよいでしょう。課題を決めるときに、まず百科事典で調べたい言葉について調べると課題設定のヒントが隠れていることもあります。テーマによっては、さらに詳しい情報が必要になってくる場合もあります。そんな時は、前のページで紹介したそれぞれの専門分野についての参考図書を使うことでより詳しく調べることができます。

それでは、調べる方法を紹介します。

方法① 索引を活用する

索引百科事典の巻末にあります。その本に書かれている重要な事から、地名、人名などを抜き出して50音順（アイウエオ順）別に並べています。調べたことを、素早く確実にとらえるには、索引を引いた方が効率的です。

各巻末に索引が載っている場合と、総索引として索引だけが一冊の本にまとめられている場合があります。

あ	
I C	260, 296
アインシュタイン	50
あかね色	100

[索引の例]

方法② 目次を見る

目次は、その本に書いてある記事の見出しをページに表したものです。本の内容を書かれている順番に示しているので、目次を見ればその本の構成や内容が分かるようになっています。

注意！ 百科事典には、50音順（アイウエオ）順配列のもと部門別配列にまとめているものとがあります。目次や索引をよく見ることも大切ですが、まずは、前書きをしっかりと読み、事典の全体構成や特徴を理解し、使い方を確認してから調べることをお勧めします。

（例）百科事典の種類

